

CMSCサマーイベント



◀ イベント2本立、大忙だった帯広のみなさん(トレンス杯ダートトライアルにて)

▼ ミラージュカップ車に乗りご満悦、札幌・清水勝一さん(サマーカーニバルイン北海道にて)



絶好調の館山正嗣さん(中央)とコースアウトに泣いた小川日出生/小田切順之組('86栗駒山アルペンラリーにて)



コース説明をする島根の国谷益雄さん(マイク)(島根ダートトライアルにて)



外川会長のあいさつ(マイク)で始まったアストロトライアル。右側は香川の田中昭男会長



アウトドアの猛者達、岐阜4WD部門の方々(三菱ファミリー大会にて)



動進帳'86のCMSC応援団、(左から)岐阜の柴尾和広、青森の高橋克郎、金田一直志、三上力生のみなさん

CMSC青森

全日本ラリー選手権第8戦AG・MSC北海道
'86ノースアタック300 7月26日(土)・27日(日)

館山/永沢組 コルディア4WD2位! 完走目指しスタート

絶好のラリー日和となった'86ノースアタック300。夕張市Mt.レースイ国際スキー場を1号車AMI1:31スタート、デイステージ(第1、第2)とナイトステージ(第3、第4)が用意され、ラリー区間なしのSSのみ14本で構成されていた。いつもなら当クラブの大西、福土両選手も一緒にエントリーするはずなのだが、今回は我々館山チーム、コルディア4WD1台の参加となった。いつもの仲間がいないのはさみしいが、その分頑張らなくては。しかし前回のツールド東北でファミリアやZなどのハイパワーを見せつけられているため、完走第一、10位以内を目標に作戦を練っていた。1ステ終了、松本ファミリア、鎌田ジェミニ、館山コルディア、羽豆ジェミニ、綾部レオーネとつづく。2ステ、SS-3は今回最長の17km下大夕張・ルベシッブ林道である。スタートして13km、左フロントをバースト。SSゴールにそのまま飛び込むが、他に比べ約30秒のロス。つづくSS-6はSS-1の逆走、Mt.レースイの下り。スピードが乗り、路面はうねっている。不安定な姿勢にならぬように3段飛びを決める。着地もなかなかよく、ベストタイムだ。(最後のSS-14も同じところかと思うとウンザリだが、ドライバーに悟られるとまずいので、うまくごまかした。)2ステ終了時点で4位。好位置につけている。

久しぶりの全日本、勳進帳'86を駆けた大西コルディア▼

今年も残りわずか、ガンバルゾ!

3ステからはナイトで、SS-7から。スタート後0.5kmでコースアウトしそうになる。ドライバーはデイステージの感覚でコーナーに進入するためのオーバースピードだ。館山の場合、特にSS、ハイアベの序盤がヤバイ。リズムをつかむまで8割ぐらいのペースで走らせる。今回の館山の走りはスムーズだ。コーナーも充分アクセルONでクリア。サスのマッチングもよく、ジャンプの後の納まりもよい。そしてなによりもコースとコルディアがよく合っていた。3ステ終了、4位。残るSSの距離も長くはない。このままのペースでいくことにした。4ステ、最終SS-14。松本がデフトラブルでリタイア。山内が巻き込まれて後退。我々館山チームはピビッタSS-14も無難にこなし、タナボタ2

位/全日本最上位となった。つづいて行なわれた勳進帳'86では我々はいいところなしのリタイアだったが、大西コルディアが建闘、11位に入ってくれた。今年も残りわずか。頑張りますのでみなさん応援のほどよろしくお願いします。(CMSC青森:永沢裕之)



▲惜しくも同点5位、鈴木昭江ランサー

▼最長不倒距離となった館山コルディアの華麗なジャンプ



JMRC東北ラリーチャンピオンシリーズ
第3戦7月26日(土)・27日(日)
第4戦8月23日(土)・24日(日)

全国のみなさんよろしく。 CMSC青森新三羽鳥です。

今年から東北シリーズに参戦

昨年の春、現在のナビ尊馬さんに「ラリーをやらないか」と誘われたのが、僕がラリーを始めたきっかけ。それまでダートラを一緒にやっていた、中学からの友人一戸君と、1歳下の佐藤君と3人でCMSC青森に入会。「三羽鳥」といわ

れる館山さん、福土さん、大西さんなど素晴らしい先輩方と練習を始めた。最初はキロ何秒も離れたり、車を傷つけたり、大変でしたが、先輩達の優れたアドバイスもあり、しだいにラリーにのめりこんでいった。そして僕達3人は昨年、地方戦でデビュー。今年からはチャンピオン戦に参加、新三羽鳥と呼ばれるようになりました。

残り1戦。入賞を目指す!

さて東北ラリーチャンピオンシリーズ、第3戦、どんぐりサマーナイトラリーに福土先輩とエントリー。秋田近郊の山中150km、25cp、59km/hのハイアベがあるものの、どちらかというとナビゲーションラリーだった。途中大きなミスやトラブルもなく、無事ゴール。結果福土さんが3位に、

僕が4位、一戸君が6位、佐藤君が7位と、全員が入賞できた。次の第4戦は栗駒山アルペンラリー。全区間舗装道路で、継ぎ区間とハイアベ区間がはっきりしているものの、3ステにはSSも用意されていた。ラジアルタイヤではない僕達は半分あきらめ気味だったが、2ステ終了したところで入賞できる位置につけていた。「よし!3ステで勝負。」ところがオーバースピードで左コーナーを曲がりきれずコースアウトで終了。残念。結果は館山さんが2位入賞したが、僕達は3人も入賞できなかった。

東北チャンピオンシリーズも1戦を残すのみ。僕達3人も6位以内入賞を目指し頑張ります。これからも青森三羽鳥同様、僕達「新三羽鳥」もよろしく応援ください。(CMSC青森:工藤清人)

D: 工藤清人
N: 尊馬伸哉



無念のコースアウトに泣いた工藤ランサー (栗駒山アルペンラリーにて)



D: 一戸幸正
N: 石井隆夫



12位と今一步だった一戸ランサー (栗駒山アルペンラリーにて)



D: 佐藤彰洋
N: 横山 悟



夜明けのSSを攻めた佐藤ランサーは14位 (栗駒山アルペンラリーにて)

